

# 第2回博士課程教育リーディングプログラム 学生会議

## 実施要項

第2回博士課程教育リーディングプログラム学生会議実行委員会

## The 2<sup>nd</sup> Student Meeting of Leading Graduate Schools 開催につきまして

陽春の候となりましたが、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第2回博士課程教育リーディングプログラム学生会議開催が決定しましたのでご案内致します。

九州大学・熊本大学・長崎大学博士課程教育リーディングプログラム履修生の主催により、平成26年6月21日(土)、22日(日)の二日間、熊本大学薬学部宮本記念館(熊本市中央区)にて、『The 2nd Student Meeting of Leading Graduate Schools』を開催します。

本会議の主題として『博士の Employability と博士教育と社会との接続』を、副題として『イノベーション from 九州』を掲げ、様々な観点からの博士課程雇用問題に関する議論を通して、プログラム履修生間の交流を活性化することを目的としています。

『博士の Employability と博士教育と社会との接続』について議論・パネルディスカッションを行うことで、学生側の考える社会のニーズと現実社会のニーズを埋めるような解決策が見いだせると考えています。また、議論を通じてプログラム履修生間の横の繋がりも深化することが期待されます。『イノベーション from 九州』では、全国の学生に地方の取り組みをアピールすることで地方の活性化に繋がると同時に、その取り組みからイノベティブな思考を学び、停滞する日本に新たな風を吹き込む力を学生に与えることが可能であると考えています。

博士人材が真にイノベーターとして社会で活躍すること。これがグローバル化する日本の発展を支える私たちに与えられた最も大きな課題の一つではないでしょうか。本会議が将来イノベーションを起こすリーダーとして活躍する皆様のキャリア形成の一端となることを期待しております。

第2回博士課程教育リーディングプログラム学生会議実行委員会  
実行委員長 熊本大学 呉花 楠

## 1. 日時

2014年6月21日(土) 11:00～20:00 ・ 22日(日) 9:00～15:00

## 2. 会場

〒862-0973 熊本市中央区大江本町 5-1 熊本大学薬学部宮本記念館

HP: <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/museum/>

## 3. プログラム概要

### 6月21日(土)

11:00～12:00 受付

12:00～13:30 ランチョンセミナー

講演者 萩原 新一氏(ゼンカイミート株式会社代表取締役)

13:30～18:00 ワールドカフェ

18:30～ 懇親会

### 6月22日(日)

9:00～12:00 パネルディスカッション

講演者 Devang Thakor 氏(米国特許商標局特許審査官)

喜久里 要 氏(大阪大学総務企画部経営企画課長)

藤沢 久美 氏(シンクタンク・ソフィアバンク代表)

公開講演

樋渡 啓祐 氏(武雄市長)

13:00～15:00 全体討論 まとめ&発表

15:05～15:25 閉会挨拶・写真撮影

## 4. 参加費

参加登録費 3000 円 (2日分の昼食代を含む)

懇親会費 3000 円

※参加費は当日会場にて現金でお支払いください。その際に、領収証をお渡します。

## 5. 参加申し込み

参加申し込み期限 **2014年5月31日(土)まで**

以下のリンクより参加登録フォームに必要事項をご記入の上、登録を完了してください。

<https://sites.google.com/site/the2studentmeeting/Registration>

注 1)誠に勝手ではありますが、会場都合上、定員 100 名を超え次第締め切らせて頂きます。

注 2) 参加プログラム多数の場合は、同一プログラムからの参加者を制限させて頂くことがございます。

## 7.事前アンケート

**登録完了確認次第、運営委員会から事前アンケートの様式をお送り致します。**

参加申し込み手続きと併せて簡単な事前アンケートをお送りします。このアンケートの結果はパンフレットに記載し、当日の討論において使用します。

**【事前アンケート送付先】**

事前アンケートは、WordもしくはPDFファイルをメールに添付し、タイトルを『事前アンケート』として、[satoshishimada@tm.nagasaki-u.ac.jp](mailto:satoshishimada@tm.nagasaki-u.ac.jp) までお送りください。

**事前アンケート送付期限：2014年5月31日(土)**

確認後、運営委員会から受領した旨をお知らせいたします。5月24日までに運営委員会から連絡がない場合は、お手数ですが、再度ご連絡をお願い致します。

## 8.宿泊

運営委員会から宿泊施設の斡旋は行っておりません。宿泊施設等のご予約は各人でお申込み下さい。

熊本大学は熊本近郊にゲストハウスを持ち合わせておりませんのでご了承ください。

## 9.企画運営プログラム(順不同)

- 九州大学大学院 博士課程教育リーディングプログラム 分子システムデバイスコース
- 熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム  
グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO
- 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程教育リーディングプログラム  
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成プログラム

## 10.お問い合わせ

質問等がございましたら、下記へご連絡ください。

第2回全国博士課程教育リーディングプログラム学生会議実行委員

長崎大学 嶋田 聡

E-mail : [satoshishimada@tm.nagasaki-u.ac.jp](mailto:satoshishimada@tm.nagasaki-u.ac.jp)

連絡先：090-4254-5397

**【ランチョンセミナー講演者紹介】**

- 萩原 新一 氏 ゼンカイミート株式会社代表取締役

日本大学農獣医学部卒業後、全国開拓農業協同組合連合会(全開連)に入会し、全国の本所・支所に勤務。その後、全開連の九州支所(福岡)を経て2000年にゼンカイミート株式会社総務部長として出向し、2002年に同社常務、2006年12月から同社社長に就任。

**【パネリスト紹介】**

- Devang Thakor 氏 米国特許商標局特許審査官

Dr. Devang Thakor received his B.S. degree in Mathematics/Applied Science and Psychobiology and his M.S. and Ph.D. degrees in biomedical engineering from the University of California, Los Angeles (UCLA), where he studied chronic pain and developed a new gene therapy technology. At UCLA, Dr. Thakor was a Master Teaching Fellow in the psychology department and also served as the Director of Corporate Outreach for the UCLA Biomedical Society, where he developed renewable funding and founded the UCLA Science Expo. Dr. Thakor was subsequently a research fellow of the Clinical Implant Society of Japan (CISJ) and Japan Society for the Promotion of Science (JSPS) at the Institute for Frontier Medical Sciences at Kyoto University, where he developed new technologies for biomaterials, tissue engineering, and regenerative medicine. He also studied stem cells and spinal cord injury as a senior fellow at Harvard Medical School, Brigham and Women's Hospital in Boston, and the Boston Veterans Affairs Healthcare System. Dr. Thakor has published extensively on pain, spinal cord injury, gene therapy, and stem cell transplantation in leading journals and serves as a peer reviewer for various journals in neuroscience, bioengineering, and regenerative medicine. A recognition of the critical role of intellectual property in the commercialization of biotechnology subsequently brought Dr. Thakor to the United States Patent and Trademark Office, where he currently makes patentability decisions as a patent examiner in the biotechnology, pharmaceutical, and chemical arts and has issued more than 20 patents. Dr. Thakor also founded, and is currently the principal consultant for, Anioplex LLC, a consultancy focused on the biotechnology and life science sectors that advises clients on matters related to research design, publication, and funding. Dr. Thakor's goal is to promote innovation at all levels and crystallize basic research concepts to real products that improve people's lives.

- 喜久里 要 氏 大阪大学総務企画部経営企画課長

2003年文部科学省入省。省内で生涯学習政策局にて教育改革の総括、初等中等教育局にていじめなど生徒指導問題への対応、大臣官房政策課にて各経済対策・雇用対策のとりまとめなど、さまざまな連絡調整業務に携わる。2009年7月から、高等教育局において、教育情報の公表

や就業力育成など大学教育改革構想や、私学助成等の私立大学振興の業務に携わる。本年 4 月より大阪大学に出向し、総務企画部経営企画課長として勤務。現在の日本の高等教育に疑問を抱き日本を変えるために情熱を燃やす若きエリートの一部。学会や勉強会、大学での講演活動も精力的に行っている。前・文部科学省高等教育局大学振興課専門官。

● 藤沢 久美 氏 シンクタンク・ソフィアバンク代表

大学卒業後、国内外の投資運用会社に勤務。1996 年に日本初の投資信託評価会社を起業。1999 年同社を世界的格付け会社スタンダード&プアーズ社に売却。2000 年にシンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。2013 年、代表に就任。2003 年社会起業家フォーラム設立、副代表。2005 年より、法政大学ビジネススクール客員教授を兼務。

NHK教育テレビ「21 世紀ビジネス塾」のキャスターを 3 年間務め、その間、全国の中小企業やベンチャー企業の取材を行ってきた。同時に、様々なテレビ・ラジオ・雑誌等を通じて、1000 社を超える企業を取材。現在も、ネットラジオ「藤沢久美の社長 Talk」等、全国の元気な企業の経営者のインタビューと現場の取材を続け、メディアを通じて発信している。

また、長年、個人の投資活動のあり方についての提言を続け、書籍の執筆、雑誌への寄稿、テレビ・ラジオへの出演、各地での講演等を通じて、投資や起業、経済や経営について、わかりやすく語ってきた。現在、マスメディアとネットメディアを結びつけることによる新しい社会的事業の育成、「ソシオ・インキュベーション」の活動に取り組んでいる。

著書は多数あり、なかでも、「なぜ、御用聞きビジネスが伸びているのか」(ダイヤモンド社)は、韓国語に翻訳され、「子供に聞かせる『お金』の話」(PHP研究所)は、韓国・中国・台湾・タイの 4 ヶ国語に翻訳され、アジア各国で読まれている。

公職として、文部科学省参与、情報通信審議会委員、沖縄振興審議会委員、社会資本整備審議会委員、金融庁、経済産業省、総務省、内閣府等の各研究会委員、社団法人 投資信託協会理事、日本証券業協会公益理事を務める他、金融審議会委員、内閣府新 IT 戦略会議専門評価委員、産業構造審議会地域経済産業分科会委員、税制調査会金融小委員会委員、金融担当大臣金融経済教育懇談会委員を歴任。

【公開講演者紹介】

● 樋渡啓祐 氏 (現・佐賀県武雄市長)

1993 年東京大学経済学部卒業後、総務庁人事局(現総務省)に入庁。大阪府高槻市市長公室長などへの出向を経て、2005 年の総務省大臣官房秘書課課長補佐を最後に、同省を退職。06 年、佐賀県武雄市長選に立候補。現職を大差で破り、全国最年少市長(当時)として注目を浴びる。今年 4 月には 3 期目の当選を果たす。

TV ドラマ『佐賀のがばいばあちゃん』のロケ誘致、レモンガラスや猪肉の特産化など、ユニークなアイデアを連発。市立図書館をカルチャ・コンビニエンス・クラブに運営委託したという斬新な

改革は記憶に新しい。その他にも、ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用したメッセージの配信など、人と人が繋がることを意識した活動を積極的に行っている。